

平成29年1月10日発行

岩谷医院

院長 岩谷 文夫 (心臓血管外科名誉専門医、健康スポーツ医)

副院長 岩谷 恭子 (循環器専門医、内科認定医、産業医)

ホームページアドレス <http://iwaya-clinic.com>

## 迎春

遅ればせながら新年あけましておめでとうございませう。一年が短く感じられるのは歳のせいでしょうか？ 読売新聞の読者が選んだ昨年の国外および国内の十大ニュース。国外での第一位は米国大統領選挙でのドナルド・トランプ氏の勝利でした。少々驚きましたが、物事に対する価値観が多様になり、従来の価値観とは異なった価値観を持つ割合が増えているのではと率直に思いました。アメリカが「くしゃみやみ」をすれば日本は「風邪をひく」と言われますが、くしゃみやみで吹き飛ばされなければよいのですが——。今シーズンはまだインフルエンザの患者さんが少ないのがとても救いです。国内の第一位は熊本地震、死者五十人でした。四月十四日以降、二度の震度七にみまわれ、その後の避難により、避難センターや車内泊などでの関連死は百十人へのぼるそうです。自然の力の前にはなすすべもありません。『想定外』という言葉は死語にして危険を回避する方策が必要と考えますが中々難しい問題です。第二位は小池都知事の誕生、第三位はリオデジャネイロオリンピックで、日本は十二個の金を含む四十二個のメダルを獲得し日本中を沸かせました。小池知事の前途は多難ですが、やる気十分です。「都民ファースト」のクリーンな政治に期待したいですね。さて、岩谷医院の二〇一七年は。勿論、今年も「患者ファースト」のヒヤシンス医療でゴー、ゴー、ゴーです。

\*ヒヤシンス医療…ひらかれた、やさしく、しんせつで、すぐれた医療

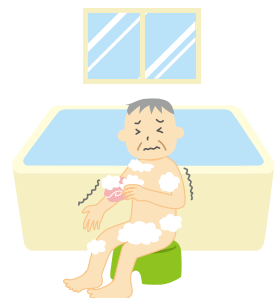


吾妻小富士

## 院長より一言

### ヒートショック

ヒートショックとは急激な室温の変化などで、血圧が急激に上昇したり、下降したり、脈拍が早くなったりする現象のことで、心臓に負担がかかり、特に高齢者では心筋梗塞や脳血管障害などにつながりかねない危険な状態です。昨年12月31日の「福島民報」の記事によると年間推定で1万7000人が入浴中に死亡したとあり、特に気温が下がる1月の心肺停止者数は8月の10倍だそうです。また入浴前後の血圧の変動として、脱衣直後、入浴時そして入浴後では、最大で32～35mmHgも変化したという実験結果を載せていました。条件によってはもっと血圧差が生じることも考えられますので要注意です。対策としては、食事直後、飲酒後の入浴を控え、脱衣所と浴室の温度差を少なくし、湯温は41度以下のぬるめにして、ゆっくりつかるなどが良いと思います。私も実行せねばと思っています。



## 患者さんからの寄稿

### 私の遠き昭和

福島市太田町 太田 まち子さん

小学校へ入学してからの私は、本を読むのが一番の楽しみであった。

当時は昭和の始め、貧富の差はさること乍ら世相は、二・二六事件、日支事変と、幼い私達にもそれほどよめきは、不安を感じさせるものがあつた。

父は本の好きな私に、月遅れの雑誌を毎月買つてくれた。月遅れとは、当月を過ぎた月刊雑誌であり、値段の方は半値位でもあつたのか幼かつた私には、しかとした記憶はない。

その頃の少女雑誌には「少女倶楽部」「少女の友」などがあり、買って貰えるのは何時も月遅れの少女の友であつた。それでも私は嬉しかった。当時の少女雑誌の挿絵画家は、竹久夢二や中原淳二でその絵の可憐さと美しさは、子供心にも憧れを抱かされるものがあつた。そんな父が、辞世の歌を残して他界したのは父が六十才、私が十才の時であつた。関東生れの磊落な母は後日冗談ではあろうが「残すならお金の方が良かったのに」と茶呑話に語つた事があつたが、それには、子供心にも少なからず反発を覚えた父思いの私であつた。

終

\*昭和二十年生まれの私(実は年男)の場合、雑誌は漫画の「冒険王」、「漫画王」、「野球少年」でした。イガグリくん、赤胴鈴之助や、背番号ゼロ、などに夢中でした。懐かしい思い出です。(院長)

## 患者さんからの寄稿

### 同期会

福島市笹谷 栗原良樹さん

学窓を去つて、六十年が経過しました。私達学友も皆傘寿に到着しています。その六十年間の期間に十八回の同期会を開催しました。今年で十八回目です。体調不良、家庭の事情、死亡等で年々参加者が減り続けて、今年も横濱一名、埼玉一名、郡山一名、福島二名の五名でした。

まず去年の十七回から書かせて頂きます。当番幹事が私だったので、私は地元土湯温泉山水荘を二泊目に決めました。翌日は会津若松観光と決め、会津若松松尾由で芦の牧グラウンドホテルを二日目の宿としました。まずは磐梯山麓の慧日寺を見学、会津若松鶴ヶ城をあとに二路、塔のへつり、大内宿を見学、芦の牧グラウンドホテルに宿泊する。翌日、柳津虚空蔵尊を拝んで立木観音、中田観音、鳥追観音の会津コロリ三観音を参拝する。さあこれでコロリいくんだと談笑しながら、その後、斎藤清美術館を見学して十七回目終了する。県外からの友には非常に好評で、幹事の私としては良い気分です。十七回目の同期会は終了しました。

十八回の今年も、皆、歳が歳なので、自家用車はやめようと、新幹線とタクシー使用と言う事に決めました。二泊三日の旅行先は山形上山温泉あづま屋旅館宿泊。二日目は天童市内の天童



### 川柳箱より(短歌、俳句、川柳、詩など)

蒲倉琴子さん(福島市松川町)

俳句

去年今年「菜根譚」を飾り置く  
今年藁匂い広げて鶏遊ぶ  
花の春火種のごとき嬰(やや)の糞(まり)  
餅花の写す鏡に髪を梳く

\*蒲倉さんは福島医大第一外科時代からの友人です。今年もよろしくお願いいたします。(院長)

翔屑(しょうせつ)さん(福島市天神町)

川柳

ゆきうさぎ新春号

初春のゆきうさぎまだ冬眠  
ゆきうさぎ目覚め待つ人うつくしま  
豊作を願う農家のゆきうさぎ  
ゆきうさぎ共に栄える岩谷医院

戦時中と戦後の日本世相川柳  
故郷は万歳と遺骨帰るとこ  
出征の門標あつて朽ち果て家  
忠魂碑戦後遺骨は目の仇  
田中之と呼べばゴダマは角栄と  
高校生ゲートルなしで下駄を履く

\*戦後七十二年、翔屑さんなら  
ではの作品ですね。そして、  
いつも岩谷医院のことも気に  
かけていただき有難うござい  
ます。(院長)



ホテルと決まっているのでまず当日の集合場所は米沢駅構内で、時間通りに正午過ぎ五名が集まり、駅前の新杵屋で昼食する。その後、タクシー乗車で上杉神社。稽照殿、上杉家廟所、東光の酒蔵の四ヶ所を見学。午後、奥羽本線下りで上山温泉あづま屋に到着する。午後四時から五名で川柳の勉強会をし、その後入浴。六時から宴会、延々十時頃まで談笑と酒呑みが続ける。翌朝上山城周辺を散策。月岡神社、武家屋敷三輪家、旧曾我部屋敷を案内付き丁寧な説明を受ける。

その後、奥羽本線下りで二路山形市へ。駅到着後、市内百円巡回電車で市街地を見学、途中下車。文翔館(旧山形県庁)大正五年中條精一郎氏に依つて設計されたルネッサンス風の館で平成七年に復元されて山形県郷土館として親しまれている。そして、午後三時奥羽線下りで天童温泉へ。心も体もぼつかばつか暖まる創業百余年の天童ホテルへ到着。二日目の旅の疲れをとるには、打つてつけの好ホテルである。

その晩の宴会は酒もすすみ、夜中の十二時近くまで談笑雑談、ビール呑みが続きました。翌朝、将棋駒日本一の天童市内を散策。将棋工房店を巡り歩き、実技などを見学。その後、天童温泉道の駅、わくわくランドで天童特産品を探し買い物をする。そして午後やまびこ四十八新幹線で帰路へ。

列車が来る前、天童駅構内で第十九回目の同期会は仙台、松島一の坊ホテル宿泊、二日目は女川華夕美ホテル宿泊と金



華山行きを決め、来年元氣での再会を誓い散会しました。

旅行も旅行会社の旅も宜しいですが、自分達でワイワイ騒いで自由にゆつくり旅するのもいいものだと思感している次第です。

\*同期生五人の心温まる「ワイワイ旅行」。楽しさが伝わってきますね。それにしても皆さんお元気です。くれぐれも体調に気をつけて長く続けてください。(院長)

### 川柳

題 笑う

子育期泣いて笑った語り草  
笑う事一番大事健康法  
じつと耐え最後に笑う成功者  
走る

もういいかい走って逃げた鬼ごっこ  
跳ぶ走る力衰え先が見え  
バーゲンに走って集る人の欲

題 涼

涼感を求めて呑んで二日酔い  
涼しさの季節も良いがあつと過ぎ  
題 振る

振り出しに戻したいよこの人生  
振り袖の女性がいい宴の席  
題 飛び

飛び切りのマグロで一杯庶民夢  
飛び飛びの月給待ちの年金者  
題 楽

神頼み楽に行きたい極楽に  
楽すれば必ず来るよ苦の順番  
\*栗原さんは久々の登場です。これからも宜しく願い  
いたします。(院長)

### 熊川アブさん(福島市腰浜町)

俳句

七草粥をいただきながら詠む  
七草や妻の手許に陽のひかり  
せりなづな七草粥で腹癒し

\*熊川さんも久し振りの登場です。(院長)

## 医院だより

看護師さんご紹介 渡邊利津子さん



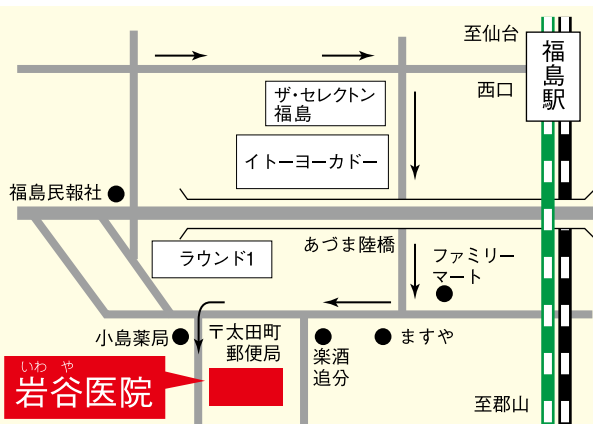
昨年の8月中旬より岩谷医院にて働かせていただいています。まだまだ未熟な私ですが優しい姿勢と笑顔をモットーに頑張りますのでよろしくお願いいたします。

## 医院からのお知らせ



### インフルエンザの流行に注意!!

今シーズンも昨年同様、インフルエンザの患者さんは少ないようですが、今後に関しては昨年のように流行の可能性もあり油断できません。インフルエンザのワクチンはまだ余裕がありますので接種を希望する方は受付にご相談ください。



【福島駅西口より 徒歩7分】  
〒960-8068 福島市太田町17-27ラ・シェール追分1F  
でんわ 024-528-7770 / FAX 024-528-7780

★診療時間(予約の方が優先されます)  
平日(木曜日を除く)は 午前9時~12時 午後2時~5時30分  
土曜日は 午前9時~午後2時(昼休みなしで診療いたします)  
休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日

★診療項目  
内科疾患・循環器疾患・動脈疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ペースメーカー管理・人工血管管理・基本検診・健康スポーツメディカルチェック など

## 患者さんのコーナー

「盆栽コレクション」 福島市矢剣町 Mさん

\*愛情が伝わってくる盆栽の数々、患者さんも癒やされています。(院長)



イワシャジン



タチバナモドキ



ローヤガキ

ダイヤモンドソウ

コケモモカマツカ

キイトラッキョ

アオツツラフジ



アオツツラフジ

ダイヤモンドソウ

ウメバチソウ

## 素敵な手作りの通院手帳カバー

通院手帳は診察の度に見せていただいておりますが、ある患者さんの手帳カバーは素敵な布製で奥様の手作りとのこと。残り布を利用していただいた感謝感激でした。私達スタッフもいただきました。本当に有難うございました。(院長)



## あともがき

平成29年の元旦は曇り空のため、残念ながら初日の出はきれいに撮れませんでした。振り返ると雪の吾妻小富士がきれいでした。大原総合病院建設中のクレーンが印象的でした。今年はどんな年になるのでしょうか。「ゆきうさぎ45号」をお届けいたします。皆様の支えに感謝しながら、目の前の患者さんに向き合っていきたいと考えております。